

おのだけの素敵ないろ、ぜんぶ見つけよう。

2025

12

No.754

onoiro おのいろ

〈特集〉

こねて、わらって、あったまる
郷土料理「まんがこ汁」



Newborn

おのいろ 誕生!

小野町の広報紙が「おのいろ」として新しく生まれ変わりました!

「おのだけの素敵ないろ、ぜんぶ見つけよう」をコンセプトに、
この町で暮らす人々、美しい四季・イベント、そして町の未来の可能性を、
より鮮やかに、親しみやすくお届けします。

町の「今」と「これから」を映し出す、あなたにとっての一番身近な一冊を目指します。
さあ、一緒に新しい小野町のいろを探しましょう。



町民の皆さまへ

小野町が今年の2月1日をもちまして、町制施行70周年を迎えることができました。これもひとえに町政進展に多大なるご尽力をいただきました先人諸賢のご努力と、町民の皆さんの熱意とご協力の賜物であり、心から感謝とお礼申し上げます。

このたび、町の広報紙を「おのいろ」に変更し、町の情報を町民の皆さんへ分かりやすく親しみをもってお伝えできるよう、新たな試みとして発行することとなりました。ぜひご愛読いただければと思います。



町長 村上昭正

01

もっと親しみやすく!

表紙デザインや特集紙面を刷新し、写真と色を豊富に使用することで、行政情報だけでなく町の日常も伝わる、手に取りやすい広報紙になりました。町民の皆さんの「素顔」を大切にしたい特集や、暮らしに役立つ情報も満載です。

02

もっと小野町を好きになるように!

小野町の隠れた魅力を再発見! 歴史、自然、特産品といった町の財産を、深く掘り下げた企画で紹介し、町で活躍する人々のストーリーを通して、小野町への愛着や誇りを育みます。「こんな素敵な場所があったんだ!」という発見が、あなたの心に新たな「いろ」を加えます。

03

もっと行動したくなるように!

読んだら、何か「やってみたくなる」! 町民の皆さんが町を知り、町づくりに参加できるきっかけを積極的に紹介します。町の新たな魅力の紹介や、新しい挑戦をしている人のレポートなど、「一度行ってみよう」「自分も一歩踏み出そう」と思える情報が満載。あなたの行動が、小野町の未来をさらに鮮やかに彩ります!



総務課兼デジタル推進室
広報担当 佐藤

今月の表紙



今月号は、小野町の郷土料理「まんがこ汁」を紹介! 石井友子さんにインタビューを行い、実際に作っていただきました。インタビューの内容はP. 4~5に掲載していますので、ぜひご覧ください。

広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中!



で配信中!

※カタログポケットは、多言語への翻訳機能があるため、外国籍の方でも簡単にご利用できます。

INDEX

- 02 INDEX / 「カタログポケット」利用者アンケートへのご協力をお願いします
- 03 おのいろ誕生!
- 04 郷土料理「まんがこ汁」特集
- 06 小野町70周年記念式典小野町功労者表彰式
- 09 第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 / 町から小野高校へ栗苗木を贈呈
- 10 おのまち健康まつり2025開催 / おのまち文化祭が開催されました
- 11 第8回ふくしま植樹祭・小野町70周年記念植樹祭が開催されました!
- 12 小野小通信
- 13 小野中通信
- 14 小野高通信
- 15 おのまち認定こども園通信 / 地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ
- 16 小野町児童館キラッと☆おの / 「子育て応援アプリおののびby母子モ」配信中
- 17 おのまち地域おこし協力隊活動記 / 「空き家空き地バンク」掲載物件を募集!
- 18 第16回田村地方交通安全大会 / 第10回小野町パークゴルフ協会会長杯大会開催
- 19 株式会社東邦銀行・株式会社バイウィルとカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定を締結 / 除雪作業にご協力ください
- 20 ライオンズクラブと小野高生が町に彩りを / 宝くじ助成金で消防団備品を整備しました / シルバー人材センター美化活動 / お知らせ / ご寄付ありがとうございます
- 21 おのまちごみ減量大作戦! /
- 22 マイナンバーカードをお持ちの方はコンビニで各種証明書が取得できます!
- 23 国民年金コーナー /
- 24 スマホで撮影できるARフォトフレームのお知らせ【第3弾】
- 25 フォトコンテストの審査結果および表彰式を開催しました
- 26 おのまち夏まつり・たかむら踊り絵画コンクール / 令和7年度米の消費拡大推進ポスターコンクール
- 27 小野町地域包括支援センターからのお知らせ
- 28 公立小野町地方総合病院からのお知らせ /
- 29 夜間診療所当番医・休日当番医
- 28 各種健診・教室などの日程
- 29 食品放射能測定結果 / 上水道水質検査結果 / お誕生おめでとう / 町の人口・世帯数 / おくやみ申し上げます / 町税等納期のご案内
- 30 小野町社会福祉協議会からのお知らせ

「カタログポケット」利用者アンケートへのご協力をお願いします

町では、今年度から広報おのまちはを多言語で読める情報配信ツール「カタログポケット」を導入しています。「カタログポケット」では、10言語への翻訳や音声読み上げなどの機能を利用でき、大変便利です。利用者の皆さんへのさらなるサービス向上のため、アンケートを実施していますので、ご協力をお願いします。

■回答フォーム

次のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込み、ご回答ください。



アンケート
回答用QRコード



カタログポケットはこちらからご確認できます!

☎ 7212111
デジタル推進室

※回答の目安時間は5分程度です。
※回答は一人1回でお願いします。
※回答いただいた内容は集計にのみ利用します。

郷土料理「まんがこ汁」

小野町に昔から伝わる、心も体もあったまる家庭の味。
「まんがこ汁」の魅力を紹介します。



小麦文化が育んだ 小野町の郷土料理

湯気に包まれた大鍋で煮込まれているのは、たっぷりの野菜と「まんがこ」と呼ばれる太くて短い小麦の麺。小野町の食卓に昔から欠かせない、素朴な家庭料理「まんがこ汁」です。

「昔は味噌も小麦も野菜も全部自家製だったの。だから家ごとに味が違ったんですよ」と、郷土料理の継承に取り組む石井友子さん。名前の由来は、田んぼを耕す道具「馬鋤」の形に似ているから。かつて冷害が多かった小野町周辺は、コメの収穫が安定せず、葉たばこ栽培が盛んなことから霜よけ用に小麦を多く作っていたそうです。

そうした暮らしの中で小麦を生かす知恵が根付き、まんがこ汁が生まれたといわれています。粉に塩水を混ぜ、こねて寝かせ、手や足でのばして短く切る。うどんよりも手軽に作れるまんがこは、時代に合わせて工夫されながら受け継がれてきました。

家族の団らんに 寄り添うまんがこ汁

日のごちそうとしても親しまれてきたまんがこ汁。「昔は一度にたくさん作って3日がかりで食べることもあったの。忙しい時でもこれ一つでお腹いっぱいになるし、必要な栄養も摂れます。時間がたつほど食感が変わるから飽きずに楽しめるでしょ」と、石井さんは笑います。

使う野菜は季節によってさまざま。「冬は大根やにんじん、夏はかぼちゃ。旬なら何でも合います」。また、野菜の旨みが味の決め手になるため、「少量だと味が決まらないの。みんなが集まる時に作ると、とってもおいしくなるんですよ」と、大人数で囲むほどおいしく仕上がるのも特徴です。

家族や親せきが集まる年の瀬からお正月にかけては、まんがこ汁がひと際恋しい季節。湯気の立つ鍋を笑顔で囲む食卓に、「こねて、わらって、あったまる」の言葉がやさしく重なります。

教えてくれた人／
石井 友子さん



／わが家の／

まんがこ汁エピソード



ふるさとの味が、わが家の定番に。

6年前に町内の飲食店で初めてまんがこ汁を食べました。テレビのレシピも参考にしながら、わが家流の味を探っています。豚汁に似た具材で手順もわかりやすく、寒い季節には重宝する一品。郷土料理を身近に感じることで、家族の絆も深まったように思います。今回の写真は赤味噌で作りましたが、主人の実家で仕込む白味噌でも挑戦してみたいです。これからも季節の野菜を取り入れながら、わが家らしいまんがこ汁を楽しんでいきたいです。

教えてくれた人／
吉田 由香さん



／作ってみよう！／ まんがこ汁レシピ

材料(5人分)

- 【まんがこ】
- ・小麦粉(中力粉か強力粉)・・・150g
 - ・6%食塩水・・・・・・・・75～85mg
 - ・打ち粉(小麦粉)・・・・・・・・適量

【汁】

- ・じゃがいも・・・中2～3個
- ・にんじん・・・中1/2本
- ・大根・・・・・・・・中1/4本
- ・ごぼう・・・・・・・・1/4本
- ・好みのキノコ・・・適量
- ・長ネギ・・・・・・・・1本
- ・こんにゃく・・・1/4枚
- ・豚バラ肉・・・50g
- ・豆腐・・・・・・・・1/2丁
- ・味噌・・・・・・・・100g
- ・醤油・・・・・・・・25mg
- ・油・・・・・・・・大さじ1
- ・水・・・・・・・・1.2ℓ

作り方

【まんがこ】

- ①ボウルに小麦粉と食塩水を入れ、握ったときに粉がまとまるまでよく混ぜる。
- ②生地をポリ袋に入れ、暖かい場所で1時間ほど寝かせる。※寒い時期は2時間ほど
- ③袋の上にタオルをかけ足で踏む。平たくしては折りたたみ、再度踏む工程を3～4回繰り返す。
- ④打ち粉をした台に生地を取り出し、麺棒で5mm程度の厚さにのばす。
- ⑤生地を10cm幅の蛇腹状に重ねてたたみ、7～10mm幅に切る。さらに長さが3～5cmになるよう短く切る。
- ⑥沸騰した湯で15分ほど茹で、冷水で洗ってぬめりを取る。

【汁】

- ①野菜とこんにゃく、肉を食べやすい大きさに切る。
- ②鍋に油を熱し、こんにゃく→ネギ以外の野菜の順に炒める。
- ③水・きのこ・味噌の半量を加え、野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ④豚肉・豆腐を入れ、残りの味噌と醤油で味を調える。
- ⑤茹でたまんがこを加え、ひと煮立ちさせる。最後にネギを散らす。



POINT!

まんがこは厚めに伸ばすとコシが出ておすすめです。多めに作って冷凍もできるので、いろんな料理にアレンジしてみてください♪



橋本 幸夫さん
(小野山神)

特別功労



小野町文化財保護審議会委員として平成8年から通算17年間、この間副会長として7年間、町文化財の保護・調査・保存活動に尽力されました。
また平成21年と平成30年には、郷土誌を活字化・再編さんした「小野町史料集成」の発行にも尽力されました。

吉田 広一さん
(塩庭二区)

特別功労



小野町繁殖牛・肉用牛委員会委員および小野町畜産振興審議会委員として、昭和59年から令和3年まで、平成24年からは会長として、本町の畜産振興に尽力されました。
また平成19年からは11年間、小野町消防委員会委員として、その間2年間は委員長として、消防行政の適切な運営に尽力されました。

木村 隆夫さん
(夏井)

善行



約15年にわたり小野町グラウンドゴルフ協会夏井支部の支部長を務められました。
また夏井川花咲く水辺の会会長および諏訪古峯遊歩道みどりの小径の会会長として、夏井千本桜周辺の環境整備に尽力されています。

鈴木 清訓さん
(小野赤沼)

善行



平成14年から長年にわたり献血事業に協力し、計78回もの献血を行い、献血事業および医療に大きく貢献されています。

舘川 正人さん
(吉野辺)

産業・技能功績



「しめ縄」製作の講師として、長年にわたり旧飯豊小学校やふるさと文化の館をはじめ各方面で指導され、伝統文化の継承に貢献されています。

小野町建築家具組合
(組合長・吉田恭正さん)

産業・技能功績



長年にわたり町の誕生記念品「おめでたいっすー」(幼児用いす)の製作や親子木工教室の講師として協力しており、木材の活用を通じた森林資源の大切さについて広く伝えていただいています。

三本松武子さん
(仲町)

周年記念功績



平成8年から長年にわたり献血事業に協力し、計229回もの献血を行い、献血事業および医療に大きく貢献されています。

平澤 八重さん
(仲町)

周年記念功績



平成8年から長年にわたり献血事業に協力し、計275回もの献血を行い、献血事業および医療に大きく貢献されています。

小野町 70 周年記念式典 小野町功労者表彰式



小野町は、昭和30年2月1日に1町2村が合併してから70周年を迎えました。
これを記念し、小野町70周年記念式典が11月23日、多目的研修集会施設で行われました。
式典に併せ、功労者表彰式も行われ、各分野で町政振興に寄与された6人が受章されました。
功労者表彰は、小野町表彰条例に基づき、町の政治、教育、文化などの振興に寄与された方々ならびに多くの人の模範と認められる活動があった方々に対して授与されるものです。
さらに今回は町制施行70周年を記念した産業・技能功績として1人1団体、周年記念功績として3人3団体が受章されました。
各分野における受章者は次のとおりです。

宇佐見恵子さん
(谷津作)

特別功労



小野町社会教育委員として平成18年から12年間、本町社会教育振興に尽力されました。
また平成26年からは小野町国民健康保険運営協議会委員として、本町の国民健康保険の安定的な運営のために尽力されています。

橋本 長吉さん
(郡山市)

特別功労



小野町介護認定審査会委員として平成23年から10年間、町の高齢福祉のために尽力されました。
また平成10年からは学校医として学校保健活動に尽力されているほか、乳幼児健診や予防接種にも協力いただいております、本町の地域医療、予防医療に大きく貢献されています。

小野町チーム力走！ 第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が11月16日、しらかわカタルスポーツパーク(白河総合運動公園)陸上競技場から福島県庁までの96.3kmのコースで繰り広げられました。

競技場のスタンドや沿道には、のぼり旗や小旗を持った応援団が町から大勢かけつけ、選手たちに大きな声援が送られました。

小野町チームは1区先の崎百音選手が区間19位、2区村上明真選手は区間13位と好スタートをきり、次々とタスキをつなぐ力走を見せてくれました。選手、監督をはじめ本大会に携わった全員が小野町チームの持ち味である最後まであきらめない気持ちを持ち、総合44位、町の部22位の結果となりました。

レース後、吉田正宏監督は「大会直前に区間の選手変更があったが、16区間全選手が走り切ることができ、選手の皆さんには大変感謝している。今後も、町の部入賞を目標にさらなるチーム力の向上を図りたい」と語っていました。

応援していただいた町民の皆さんに、紙上より厚くお礼申し上げます。また小野町チームの皆さん、長期間にわたり本当にお疲れさまでした。

【第37回ふくしま駅伝成績表】 (敬称略)

区間	距離(km)	区分	選手名	記録
1	4.0	女子	先崎 百音	13分45秒
2	8.2	男子	村上 明真	25分2秒
3	5.8	男子	橋本 結翔	21分31秒
4	7.3	男子	村上 太毅	25分53秒
5	6.4	男子	遠藤 滉太	25分13秒
6	8.3	男子	先崎 洋樹	32分14秒
7	5.4	中学男子	遠藤 龍也	19分27秒
8	4.1	中学男子	草野 昂喜	16分49秒
9	3.0	中学女子	穴戸 万葉	14分3秒
10	10.6	男子	先崎太空海	42分37秒
11	3.9	女子	久下はる菜	14分47秒
12	7.0	男子	永林 正博	28分17秒
13	4.8	男子	武藤 乃亜	18分22秒
14	5.7	男子	橋本 洋斗	24分9秒
15	3.4	女子	永林 美波	13分46秒
16	8.4	男子	吉田 悟志	31分35秒
計	96.3			6時間7分30秒



小野高校の生徒による栗苗木の植樹式が行われました 町から小野高校へ栗苗木を贈呈

本年度、小野高校として最終年度となることから、小野高校の取り組みを後世に継承していくため、11月9日に栗の植樹式が実施されました。(小野高校は令和8年4月に船引高校と統合し「あぶくま柏鵬」高校が開校します。)

植樹式に先立ち、町長から原田校長へ町が産地化を進めている栗の苗木を贈呈しました。植樹式には、小野高校から原田校長をはじめ生徒15人、教員6人、来賓として町議会から田村議長、中野副議長、福島県農林事務所から廣田所長が出席しました。町長・来賓・生徒らが一緒になり、苗木を植樹しました。

植樹後、生徒を代表して川田志歩さん(2年)から町への感謝と栗の成長への期待の言葉が述べられました。



吉成 誠一さん
(谷津作)



周年
記念功績

平成7年から長年にわたり献血事業に協力し、計409回もの献血を行い、献血事業および医療に大きく貢献されています。

小野サッカースポーツ
少年団
(代表・木内勇次さん)



周年
記念功績

平成4年の設立以来、サッカー競技の普及、競技技術の向上と青少年の健全育成に貢献されています。

小町夢太鼓
(会長・辺見俊勝さん)



周年
記念功績

平成19年の設立以来、和太鼓を通じて芸術文化の振興や地域活性化、社会福祉活動に貢献されています。

チャリティーカラオケ
実行委員会
(委員長・山岸秀雄さん)



周年
記念功績

平成24年の設立以来、東日本大震災からの復興のため、チャリティー形式での発表会を開催し、文化・体育振興基金へ寄付するなど、住民の活力醸成および社会福祉に寄与されました。

※代理：副会長 先崎崇雄さん

～記念講演会～

式典の後には、名誉町民で東京農業大学名誉教授の小泉武夫先生による記念講演「発酵食品と子どもの教育～未来に向けたメッセージ」と、古殿町出身で和食調理人の野崎洋光さんによる特別講演「日本人として、誇りを持つべき和食の世界」が行われました。



野崎洋光さんの特別講演
「日本人として、誇りを持つべき和食の世界」



小泉武夫先生の記念講演
「発酵食品と子どもの教育～未来に向けたメッセージ」



参加者でにぎわう会場の様子



小泉武夫先生(左)、町長(中央)、野崎洋光さん(右)



お笑いステージ



キッズダンス「WISH」



キッズダンス「ウラ」

おのまち健康まつり2025が10月26日、小野町民体育館およびB&G海洋センター駐車場で開催されました。

メインステージでは、高齢者賀寿表彰の贈呈式のほか、千葉県神崎町のお里さんによる発酵講話、ちよんまげラーメンさんとはんにや川島さんによるお笑いライブや減塩レシピの話に会場は大いに盛り上がりしました。

また小野中学校吹奏楽部による演奏や町内の子どもたちによるキッズダンス、プレゼント抽選会が来場者を楽しませました。健康づくりや発酵食品の体験コーナーにも多くの方が来場しにぎわいました。

「食と運動・笑い＋美」を通じて健康づくりを意識する機会となった一日でした。抽選会に協賛いただいた皆さん、関係者の皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。



キッチンカー



発酵講話



健康ブース



小野中学校吹奏楽部



新そばまつり

第8回ふくしま植樹祭。 小野町70周年記念植樹祭が 開催されました！

第8回ふくしま植樹祭ならびに小野町70周年記念植樹祭が11月9日、小野公園で県と共同開催されました。

今回の植樹祭に併せて小野小学校に緑の少年団が結成され、次世代を担う団員を先頭に約300人の参加者が、イロハモミジや八重桜「はるか」など約千本の植樹を行いました。その後、桜の枝の剪定などの育樹活動が行われました。

参加された方々からは「いろいろな種類の苗木を植えられる楽しかった」「自分が植えた木が大きくなったら見に行きたい」という声があり、この植樹祭を通して森林についての意識醸成が図られました。

植樹および育樹活動終了後には、薪割り体験や木工椅子組立体験などの交流イベントがスマイル公園内で行われました。また小野町産業六次化・発酵のまちづくり推進協議会の味噌部会の皆さんが仕込んだ手作り味噌を活用した郷土料理「まんがこ汁」が振る舞い鍋として提供されました。参加された方々は交流イベントを楽しんだり、振る舞い鍋をほおばりうれしそうな笑顔を見せていました。



おのまち文化祭が 開催されました

『おのまち文化祭』が11月1日・2日、多目的研修集会施設およびふるさと文化の館で開催されました。

多目的研修集会施設ではバザーや菊花の展示などが行われ、ふるさと文化の館には、芸術文化団体や老人クラブの方々のすばらしい作品が展示されました。またお茶会・フラワーアレンジメントのワークショップなど、さまざまな催しでにぎわいました。

2日に多目的研修集会施設大ホールで行われた「発表の部」では、歌やダンス・伝統芸能など9団体の皆さんの日頃の活動や練習の成果が発表され、会場からは大きな拍手が送られました。「発表の部」の最後には参加者全員で町民歌の斉唱が行われるなど、盛会に開催されました。



浮金小獅子保存会



元気クラブ



マドリガルコーラス



ことぶき銭太鼓



小町夢太鼓



フルートアンサンブル・アマビーレ



詩舞の会



健康ダンスクラブ

第2回小野町学校運営協議会が実施されました

9月30日、小野町学校運営協議会委員の方々にご出席いただき、第2回小野町学校運営協議会を開催しました。委員の皆様には本校の授業を参観していただき、生徒たちが真剣に学ぶ様子や、学校の活気ある雰囲気をご覧いただきました。続く熟議では、「発想の転換 少子化をメリットに」というテーマのもと、活発な意見交換が行われました。「少子化」という課題を、地域や学校の特色を伸ばす「メリット」として捉え直す、さまざまな視点からの貴重なご意見が出され、本校の今後の学校運営を考える上で大変参考になりました。熟議の後、給食試食会を実施し、生徒たちと同じおいしい給食を堪能していただきました。



○各グループで交わされた意見を紹介！ 「発想の転換 少子化をメリットに」

- ・役割が増す／特別な体験ができる／ひとり一人の個性が大切にされる・育てられる／いろいろな場面で認められる機会が増え、それぞれの肯定感が向上する／先生がひとり一人の子どもに目が届き、手厚い指導・支援ができる／施設や資源が使いやすい／これまで注目されなかった子どもの活躍の場が増える／試合などに出場できる

一方で…

- ・子どもたちの個性を、誰が、どのように、伸ばしていくのか。町の施設が使えても指導者がいなければ個性を伸ばすことはできない。
- ・町には芸術文化サークルが複数存在するが、学校と結びつかない。
- ・SNSなどの情報に振り回されずに人とのつながりを大切に、批判的思考が大切になってくる。
- ・このような会で話し合ったことが、広がらない。共有したり、結びつけられたりできないか。
- ・社会教育を充実し、人材育成をしていくことが大事ではないか。地域をよくしたいと願っている子どもも多い。そのような子どもたちが将来、町のために活躍できるように関わっていくことが大切でないか。

などの意見が交わされました。

お忙しい中、ご参加いただき、貴重なご意見をいただいたことに心より感謝申し上げます。

本校は、これからも地域とともに歩む「コミュニティ・スクール」として、より良い学校づくりに取り組んでまいります。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

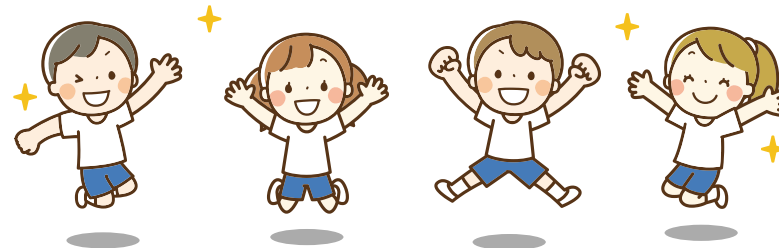


晴天のもとで全力を出し切った！小野小学校運動会

10月12日晴天のもと、令和7年度小野小学校運動会が開かれました。今年のスローガンは「あきらめずに全力・笑顔で最後までともに戦おう！全校生の光る汗と応援で巻き起こせ！小野小ライジング！」です。これは、運動会実行委員会が各学級からスローガンの募集を行い「紅組と白組が心を一つに

して一生懸命競技をがんばり、本気の応援で運動会を楽しくさせたい」という思いで決定しました。開催前の体育の授業では、各学年での競技やダンスの練習、朝の時間では大きな声が響き渡る応援歌の練習、休み時間には代表選手によるリレーや応援団の練習など、毎日取り組んできました。

当日、子どもたちは笑顔で楽しみながら、競技や応援に全力で取り組みました。6年生の小野小ダービーでは、4人1組のグループで馬となり、競い合いました。勢いよく走りほかのグループとの順位が入れ替わる様子に、下級生たちから大きな歓声が飛び、大変盛り上がりました。



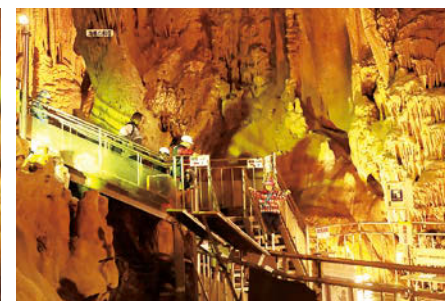
みんなで楽しく過ごした一日！杉の子・あすなろ学級の遠足

10月16日に杉の子・あすなろ学級の遠足が行われ、田村市のあぶくま洞とコミュタンふくしまに行きました。

あぶくま洞では、階段の上り下りが多く暗い通路を先生や支援員さんに付き添われながら慎重に進みました。子どもたちは、さまざまな形の鍾乳石やきれいに彩られた照明に驚いていました。

コミュタンふくしまでは、植物の繁殖する知恵を学習した後、実際に植物の種子をまねて工作した種子を2階から1階へ飛ばしてみました。また施設の方にエネルギーや資源について話を聞き、館内を見学しました。

子どもたちは、約束や決まりを守りながら、普段見ることのない施設や体験をすることができ、充実した一日を過ごすことができました。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。





となりました。

今年も子どもたちの元気なハロウィンパレードが実施されました。見に来ていた保護者の皆さんに元気いっぱい手を振ったり、一緒に写真を撮ってもらったりと、笑顔あふれる時間となりました。パレードの後にはお菓子のプレゼントもあり、「わあ!」とうれしそうなお声があちらこちらから聞こえてきました。お気に入りの仮装を脱ぐことを残念がる様子もあり「まだ脱ぎたくない!」と仮装のまま帰りまで過ごす姿も見られました。ハロウィンならではの特別な雰囲気の中で、子どもたちの笑顔とワクワクがいつぱいの楽しい一日となりました。

ハロウィンパレードに
出発!



地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ

～友だちを誘って遊びませんか～

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開催時間

午前10時から午後3時まで

実施内容

おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。

(※こども園に在園していないお子さんも利用できます。)

電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

料金

無料

予約先

おのまち認定こども園 ☎73-8321

実施内容

月 日	事業名	内 容
1 月中	こども園見学・体験会 (10:00～11:00)	こども園未入園児(入園予定児童含む)の方向けの見学会を行います。(要予約)

おのまち認定こども園通信

小野高通信 high school

小野町内クリーン活動、収穫祭

10月24日、学年ごとに3つのコースに分かれ、小野町内クリーン活動を行いました。草むらの中に捨てられた空き缶や普段は気にとめない小さなゴミまで、みんなで一生懸命ゴミ拾いを行いました。



クリーン活動

午後からは学校の校庭で「収穫祭」が行われました。5月に産業技術系列の生徒たちが植えた「ひとめぼれ」が夏の高温にも負けず、見事な黄金色の稲穂となり、収穫されました。秋晴れのもと、つやつやに炊き上がった主役のお米を味わいながら、生徒たちは持ちよった食材でバーベキューを楽しみました。



収穫祭「バーベキュー」



小野高産「ひとめぼれ」

2 学年修学旅行、1、3 学年遠足

11月11日から14日までの4日間、2学年は神戸、京都、大阪を巡る修学旅行へ行ってきました。神戸では「人と防災未来センター」を訪れ、阪神淡路大震災について理解を深め、防災や減災について意識を高めることができました。京都では班別研修、大阪ではUSJで友達と楽しい時間を過ごし、本場の「お笑い」やお好み焼きを堪能し、充実した4日間を過ごすことができました。よい思い出とともに修学旅行で得た学びや経験を学校生活でも生かしていきたいと思っています。

11月14日には、1、3学年の遠足も実施されました。天候にも恵まれ、1学年はいわき方面(アクアマリンふくしま、いわき・ら・らミュウ、イオンモールいわき)に、3学年は那須ハイランドパークに行ってきました。それぞれ友人と親睦を深めながら楽しい時間を過ごし、心身ともにリフレッシュすることができました。



君の夢をカタチに!!
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<https://ono-h.fcs.ed.jp>

地域おこし協力隊の成井です。10月後半からすっかり寒くなってきましたが、少し温まる話をできたらと思います。

9月から小野町の地域ディレクターになりました。「ふくしま真ん中ワーク&ステイ」の小野町担当というポジションです。具体的にどんなことをするのかという「県外から来られる福島県の県中地方に関心を持つ方々に、案内と交流を通じて関係人口の構築を図り、移住につなげる」という事業です。少し堅苦し

おのまち 地域おこし協力隊活動記

11月の出来事について

言い回しですので、簡単に言う「県外の人たちと仲良くしよう」ってことです。

県中地方振興局が主となり、(社)キャリア支援機構から各市町村の担当者へ役割が与えられます。しかも県中12市町村を絡めることもできるので、ここでも関係人口が構築できてしまう画期的な事業なのです。

そろそろ小野町も人口問題について考えていかないと危険信号かなと感じているので依頼が来た際は、どんな引き受けようと思っています。

話は変わり、11月8日に東京・有楽町で開催された「福島くらし&しごとフェア2025」に参加してきました。年に一度、福島県の全市町村が出演するイベントです。

小野町は新規の地域おこし協力隊確保と移住希望者の関係人口構築に焦点を絞って臨みました。新しい試みのアンケートフォームを実施して集計を取り、移住希望者の求める支援策や移住に対するポイント、田舎に対してのイメージなどの回答を重視。すると求めているものと同じであったり、目からうろこの良いアイデアだと思ふことが記載してあったりと今回の収穫は今後に生かせるのではと感じ



今回の
担当は…

なな い と き あ き
成井 秋暁 隊員
担当/移住・定住・交流分野
主な活動場所/つどっておのまち

少しばかりですが、私のできることが増えましたので、町に有益な情報などを発信していきたいと思っています。町が温かくなれば、の想いで残りの期間も頑張りますので応援していただけると幸いです。

最後に、卒隊後の仕事を見越して古着屋をオープン予定です。Instagramなどでお知らせしますので、ぜひお越しください。

小野町児童館キラッと☆おの

こどもの居場所づくり事業 「こども食堂」

小野町児童館「キラッと☆おの」では、こどもたちが安心して過ごせる場所を提供し、こどもの健やかな成長と食育を図ることを目的に毎月1回、小野町社会福祉協議会と連携してこども食堂を開催しています。

ボランティアの皆さんがアイデアを出し合った料理の準備を始めると、こどもたちは、おいしい匂いが漂う館内で、遊んだり紙芝居を見たりしながら、ランチタイムを楽しみに待っています。

浮金在住の荒谷さんから新鮮なピーマン、地域の方々からみずみずしいスイカやナスをご寄付いただきメニューに彩りを加えていただいています。

出来上がったおいしいごちそうを前に、こどもたちの笑顔もはじけています。

地域の皆さんとのふれあいが感じられるこども食堂を今後も開催していきます。



日赤すみれ会の皆さん



大好き！カレーライス！



小野町更生保護女性会の皆さん



美味しいね！ロコモコ丼



新鮮なピーマン



オリジナルメニュー

＜お知らせ＞

こども食堂についての詳細は町公式ウェブサイトで毎月更新していますので、ぜひご覧ください。

●小野町児童館キラッと☆おの ☎61-4431



町の移住定住活動を紹介します。 「空き家空き地バンク」に掲載する物件を募集しています！

町では、空き家空き地の利活用促進を図るため「空き家空き地バンク」を運営しています。相続した物件などでお悩みの方、空き家空き地を売りたい・貸したい方、新しく住居を探している方は、「つどっておのまち」までご相談ください。

空き家空き地バンクへの登録は簡単！

- ① 町に物件登録申込書を提出
- ② 町担当職員が物件の現地確認・調査
- ③ 審査、承認後に公式ウェブサイトへ掲載
- ④ 購入・賃貸希望者とのマッチング



空き家や空き地を放置するとこんな課題が…

- ・固定資産税の負担、資産価値の低下
- ・雑草が伸び放題で景観や衛生環境が悪くなってしまう
- ・倒壊、火災リスクの増、不法侵入による治安悪化
- ・近隣トラブル など

ふるカツ(空き家空き地バンク)

詳しくはこちらもご覧ください

●まちづくり推進室 ☎72-6939

つどっておのまち ☎61-6731



●子育て支援課
☎72-12212



母子モアプリ
アイコン



母子モ
QRコード

このほかにもさまざまな機能がたくさんあります。妊娠している方、すでに子育てをされている方、どなたでもご利用が可能です。お気軽にご活用ください。

お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

す。お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができま

○便利な機能がたくさん

「子育て応援アプリおののびby母子モ」配信中



便利な機能が
たくさんあるよ！



株式会社東邦銀行・株式会社バイウィルとカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定を締結

町、株式会社東邦銀行、株式会社バイウィルの3者によるカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定締結式が11月14日、議場で行われました。

式には株式会社東邦銀行から樽川小野支店長、株式会社バイウィルから齋藤執行役員兼サステナビリティ事業本部長などが出席しました。

この協定は、J-クレジット(※)を中心とする環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどについて連携・協力し、カーボンニュートラルの実現による地域活性化を図ることを目的として締結したものです。

今後、町の脱炭素化を目指し、3者が連携してJ-クレジットの創出および流通を進めていきます。J-クレジットの創出は、LED設備の導入から検討しており、その後さまざまな手法による創出に取り組む予定です。今回の協定の連携事項は次のとおりです。

【連携事項】

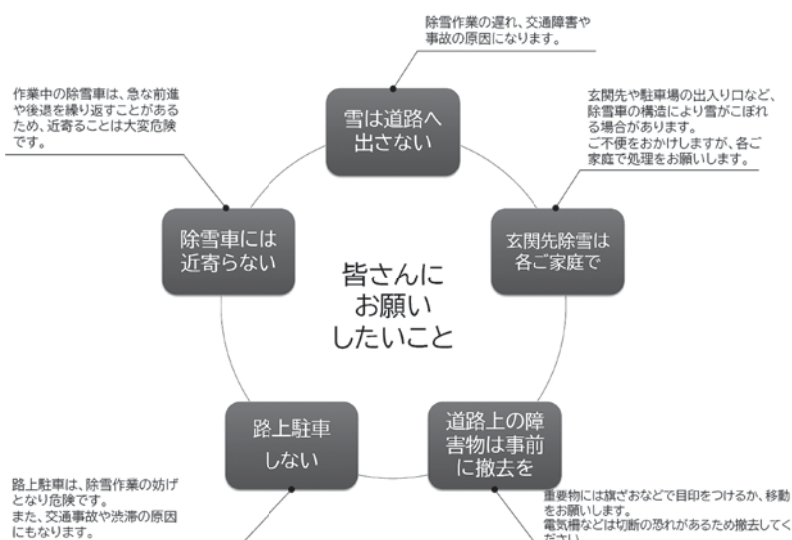
- (1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどの提供
- (2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3) その他、本協定の目的に資すると双方が認める事項

※ J-クレジットとは、省エネルギー設備の導入や再生エネルギーの活用など、事業者による脱炭素活動により得られたCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。発行されたクレジットは他の企業などに売却することができ、排出削減が難しい企業がこれを購入して排出量を相殺するカーボン・オフセットなどに活用されます。



除雪作業にご協力ください

冬期交通の安全性確保のため、県・町では相当量の降雪により交通に支障があると判断した際に道路の除雪を行います。安全で効率的な除雪作業ができるようご協力をお願いします。



- 除雪作業は、社会生活を維持する観点から交通量の多い道路を優先に実施します。
- 除雪作業中は、一時通行止めとする場合があります。
- 除雪車が通った直後の道路は滑りやすいので注意しましょう。
- 町道の除雪作業は安全性を確保しながら行うため、夜間作業は行いません。
- 除雪作業はなるべく早い時間帯に実施するよう努めていますが、積雪状況などにより時間帯が遅れる場合があります。
- 歩道や消火栓、防火水槽などの除雪は、地域の皆さんで協力体制を整えて行いましょう。

□融雪剤を提供しています

町では、道路の凍結を解消するために行政区が行う町道への融雪剤散布を支援しています。

町道へ散布するための融雪剤の提供を希望する方は、行政区長を通じて申請してください。※個人への提供は行いません。

□樹木などの適切管理のお願い

降雪時、道路沿いの樹木や竹が雪の重みで倒れたり、枝が落ちたりして交通事故などにつながる場合があります。

安全な交通確保のため、道路に接する土地に樹木などを所有している方は適切に管理をお願いします。

【管理の方法】

所有する樹木などが道路を覆ったり、道路に張り出すことのないよう、伐採や枝払いを行ってください。

※立ち枯れした樹木は、雪の重みで倒木する危険性がありますので確認と対応をお願いします。不適切な管理による事故が発生した場合、樹木などの所有者が責任を問われることがあります。ご注意ください。

☎(町道)地域整備課 ☎72-6937 ☎(国・県道)福島県三春土木事務所業務課 ☎62-3151 ○道路緊急ダイヤル ☎#9910

交通安全の功労を称え表彰 第16回田村地方交通安全大会

11月8日、第16回田村地方交通安全大会が、田村市で開催され、田村・三春・小野の3市町から交通安全団体の関係者約100人が参加しました。大会の中で、永年交通安全活動に貢献された個人や団体に対して表彰が行われました。また大会では、交通安全事故のない、安全で安心な田村地方を実現することを誓う大会宣言を採択しました。小野町からは次の方が受賞しました。(敬称略)

○東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰
・交通安全功労者
横田 清一(飯豊中)

○全日本交通安全協会会長表彰
交通安全賞「緑十字銅賞」
・交通安全功労者
門脇 秀彦(飯豊下)
・優良安全運転管理者
株式会社 高橋建設
高橋 宗彦
○福島県警察本部長・福島県交通安全協会長連名表彰
・交通安全功労者
郡司 浩光(小野山神)
○田村地方交通安全対策推進協議会長・田村警察署長・田村地区交通安全協会長連名表彰
・交通安全功労者
小野 茂(菖蒲谷)
今泉 令子(飯豊中)
・優良運転者
渡邊 功(平館)
藤井 義仁(谷津作)



瀬谷 宗平(雁股田)
・交通安全優良校
小野町立小野中学校
○田村警察署長・田村地区安全運転管理者協会会長・安全運転管理田村事業主会長連名表彰
・優良安全運転管理者
株式会社 秋田組
秋田 孝一郎
ブイエス科工 株式会社
福島工場 飛田 渉
・交通安全優良事業所
東新電気工業株式会社小野支社
有限会社 石井産業
有限会社 鈴木自動車整備工場
○田村地区交通安全協会会長・田村警察署長連名表彰
・交通安全ボススターコンクール
入選者表彰
優秀賞
割谷 涼(小野小2年)
郡司 彩椰(小野小3年)
佳作
村上 陽莉(小野小1年)
渡辺 心絢(小野小3年)
橋本 紗夏(小野小4年)
石澤 凜(小野小5年)

第10回小野町パークゴルフ協会会長杯大会開催

令和7年度第10回小野町パークゴルフ協会会長杯大会が須賀川市藤沼湖パークゴルフ場で開かれ、男女56人が参加しました。

藤沼湖パークゴルフ場は斜面に建設され傾斜が多く難しいコースが多いですが、参加者の皆さんは果敢に挑戦楽しい一日を過ごしました。

結果は次のとおりです。(敬称略)

<男子の部>

優勝	遠藤 英昭
準優勝	合津 修平
第3位	阿部 幸二

<女子の部>

優勝	阿部 京子
準優勝	吉田アヤ子
第3位	佐藤 栄子



水道管の凍結にご注意を！

外気温が氷点下を下回ると、水道管凍結の恐れがあります。

冬季間に備え、凍結予防対策を行いましょ！

凍結しやすい場所は？

- ・屋外露出の水道管
- ・屋外にある水栓柱やその蛇口
- ・屋外にある給湯器

年末年始のし尿汲み取りの申し込みはお早めに

年末年始のし尿汲み取りは次の日程となります。混み合うことがありますので、お早めにお申し込みください。
なお12月27日から令和8年1月4日までは、し尿汲み取りの対応ができませんのでご了承ください。

■年末 12月26日(金)まで実施
■年始 令和8年1月5日(月)から実施

町民生活課
7216933

凍結を防ぐために

- ・長期不在にする場合、水抜栓での水抜きや電熱線を入れること。
- ・屋外水栓に布や保温材をまくこと。

地域整備課
7216936

林野火災の予防を目的とした警報、注意報が創設されます

岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受けて、令和8年1月1日から林野火災の予防上注意を要する気象状況になった場合「林野火災注意報・警報」が発令されます。また注意報や警報が発令された場合、火の使用が制限されます。
詳しくは、郡山広域消防組合ウェブサイトをご確認ください。



郡山消防組合
ウェブサイト

名称	林野火災注意報	林野火災警報
発令指針	①前3日間の合計降水量が1mm以下かつ前30日間の合計降水量が30mm以下 ②前3日間の合計降水量が1mm以下かつ乾燥注意報が発表(①または②の基準に該当する場合)	林野火災注意報の発令指針に加え強風注意報が発表されている場合
対応	屋外での火の使用について注意喚起	屋外での火の使用等の制限(罰則あり)

ご寄付ありがとうございます 大東しゃくなげ会

大東しゃくなげ会様から、文化・体育振興基金にご寄付いただきました。
「文化・体育振興基金」は、小・中・高校生の全国大会出場時の激励金や表彰、スポーツ少年団などへの補助や活動費など、町民の皆さんのさまざまな活動に有効に活用させていただきます。
このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



大東しゃくなげ会様から寄付贈呈

ご寄付ありがとうございます 小野ロータリークラブ

小野ロータリークラブ様から町にご寄付いただきました。
これは「町の振興発展に役立ててほしい」と、ご寄付をいただいたものです。
このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



小野ロータリークラブ様から寄付贈呈

ライオンズクラブと小野高生が町に彩りを

小野町ライオンズクラブと小野高生の植栽活動が11月17日、小野インターチェンジにて行われ、小野高生が育てたパンジーの花苗約500本を植栽しました。
小野町の玄関口である小野インターチェンジに3色の鮮やかなパンジーを植栽しましたのでご覧ください。
ご協力いただいた皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。



宝くじ助成金で消防団備品を整備しました

一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」を活用して、消防団の災害対応力の充実強化を図るため、消防車両用ジャンプスターター(7台)や小型動力ポンプ用フローティングストレーナー(4台)、防火衣(6着)などの災害で使用する資機材を整備しました。
コミュニティ助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力のある地域づくりなどに対して助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉に寄与するための事業です。



フローティングストレーナー



ジャンプスターター



防火衣

シルバー人材センター美化活動

11月8日、小野町シルバー人材センターの会員の皆さんによる環境美化活動が行われました。
開会式では、清野孝行理事長から「けがをしないよう気をつけて作業をお願いします」とあいさつがあり、その後、小野町役場、老人憩の家「たかむら荘」、小野町商工会の3カ所に分かれて草刈や植木の剪定、清掃等の活動を行いました。
会員の皆さんの経験と技能を生かした作業で各施設ともきれいに整備されました。
美化活動に参加された会員の皆さんのご好意に紙上より厚くお礼申し上げます。

小野町シルバー人材センターでは、おおむね60歳以上の方が積み上げた知識・技能・経験を生かし、町内のさまざまな場所で地域活動にご尽力いただいています。

ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

小野町シルバー人材センター ☎72-2412



国民年金コーナー

～生活を支える方が亡くなったとき遺族基礎年金が支給されます～

国民年金では65歳から老齢基礎年金が支給されますが、不慮の事故などで生活を支える方が亡くなった場合に「遺族基礎年金」が支給され、国民の暮らしを守ってくれます。

■受給対象者

死亡した方により死亡した当時生計を維持されていた次の遺族

- ・子のある配偶者
- ・子※1

※1「子」とは18歳になった年度の3月31日までにある方、または20歳未満で障害年金の障害等級1級または2級の状態にある方をさします。

子のある配偶者が遺族基礎年金を受け取っている間や子に生計を同じくする父または母がいる間は、子には遺族基礎年金は支給されません。



■受給要件

次①から④のいずれかの要件を満たしている方が死亡したときに、遺族に遺族基礎年金が支給されます。

- ①国民年金の被保険者である間に死亡したとき
- ②国民年金の被保険者であった60歳以上65歳未満の方で、日本国内に住所を有していた方が死亡したとき
- ③老齢基礎年金の受給者であった方が死亡したとき
- ④老齢基礎年金の受給資格を満たした方が死亡したとき

※①および②の要件については、死亡日の前日において、保険料納付済期間(保険料免除期間を含む)が国民年金加入期間の3分の2以上あることが必要です。ただし死亡した方が65歳未満であれば、死亡日の前日において、死亡日が含まれる月の前々月までの直近1年間に保険料の未納がなければよい。

■年金額と子の加算額

遺族基礎年金は831,700円に子の加算額を加えた額が支給されます。

子の加算額は1人につき、2人目まで239,300円、3人目以降は79,800円が加算されます。

※子が受給する場合の加算額は、2人目以降に子の加算が行われ、前記の加算額を子の人数で割った額が子一人当たりの年金額になります。

※68歳以上の方(昭和31年4月1日以前生まれ)が受給する場合の基本額は829,300円となります。

■厚生年金の加入者

遺族基礎年金は厚生年金の加入者にも支給されます。受給要件がありますので、詳細はお近くの年金事務所にお問い合わせください。

☎郡山年金事務所 ☎024-932-3434

☎町民生活課 ☎72-6933

※QRコード有効期限は令和8年3月31日までです。
☎デジタル推進室
7212111



【利用方法】
次のQRコードを読み取ると、フォトフレームが現れますので、画面に収まるように撮影しましょう。

小野町町制70周年を記念し、町民の皆さんへ思い出を残してもらうため、ARフォトフレームを用意しました。
今回は第3弾として、冬を感じられるデザインへ一新し、季節の移り変わりを楽しみながら撮影ができます！

スマホで撮影できる
ARフォトフレームのお知らせ
【第3弾】

おのまちごみ減量大作戦！

～粗大ごみについてご紹介します～

それぞれの専用袋に入らない粗大ごみについてご紹介します。
粗大ごみは、ごみ収集所に出しても回収されませんので、たむらクリーンセンターへ直接搬入してください。

●粗大ごみ

自転車、たんす、いす、テーブル、ふとん、カーペット、たたみなど



●町で処理できないごみ

ピアノやオルガン、ドラム缶、農業廃材など、バッテリー(家電製品以外)、消火器、タイヤ(ホイール)、スプリング入りのベッド、建築廃材など



●出し方(粗大ごみの搬入のしかた)

粗大ごみはすべて自分自身でたむらクリーンセンターへ搬入しなければなりません。
手数料は、ごみ10kgあたり100円(税込み)です。

また町指定の※「一般廃棄物処理業許可業者」に依頼することもできます。(別途費用が発生します。)

搬入先：たむらクリーンセンター

電話番号：0247-78-2723

住所：田村市滝根町広瀬字矢大臣48-29

開所時間：午前9時～午後4時

※「一般廃棄物処理業許可業者」については、町民生活課までお問い合わせください。

「資源とごみ分別の手引き」を次の場所で配布しています。(英語・ベトナム語版もあります。)

- ・役場窓口・多目的研修集会施設
- ・子育て支援課・ふるさと文化の館
- ・町民体育館

資源とごみの分け方についての詳細な情報は町公式ウェブサイトでもご覧になれます。

小野町 ごみの出し方



☎町民生活課 ☎72-6933

マイナンバーカードをお持ちの方はコンビニで各種証明書が取得できます！

マイナンバーカードをお持ちの方は、全国にある下記のコンビニエンスストアのマルチコピー機を利用して各種証明書を取得できます。

〈取得可能なコンビニ〉

- ・セブン-イレブン
- ・ローソン
- ・ファミリーマート
- ・ミニストップ

〈取得できる証明〉

- ・住民票
- ・印鑑証明書
- ・戸籍謄抄本
- ・戸籍の附票
- ・所得証明書
- ・課税(非課税)証明書(税証明書は最新年度のものに限ります)

※マイナンバー入りの住民票、住民票の除票、除籍謄抄本、改正原戸籍謄抄本の取得はできません。

〈必要なもの〉

- ・マイナンバーカード
- ・各種証明書手数料
- ・利用者証明用電子証明書の暗証番号(マイナンバーカード受け取りの際に設定した4桁の暗証番号)

※利用者証明用電子証明書の有効期限が切れている場合は利用できません。

※顔認証マイナンバーカードの場合は利用できません。

〈利用可能時間〉

午前6時30分から午後11時まで
(12月29日から翌1月3日およびシステムメンテナンス日などを除く)

〈利用できる方〉

小野町に住所、もしくは本籍地がある方のみご利用できます。

※小野町外に住民登録をしている方で小野町に本籍地がある方は、別途利用登録(本籍地登録)をしないと、戸籍謄抄本および戸籍の附票が取得できませんので、ご注意ください。

〈証明書の取得方法〉

コンビニのマルチコピー機にある【行政サービス】のボタンから証明書の申請ができます。マルチコピー機により操作方法が異なりますので、それぞれの操作方法に従い、申請してください。詳しくは右のQRコードからご確認ください。

☎町民生活課 ☎72-6933



おのまち夏まつり・たかむら踊り絵画コンクール

小野町商工会では8月15日に開催した「おのまち夏まつり」のイベントの一環として小野小学校の児童を対象に「たかむら踊り絵画コンクール」を行いました。

小学1年生から6年生までの27点の作品が応募され、各学年から優秀賞を選び、10月21日に表彰式を行いました。

来年の夏まつりポスターには優秀賞の中から選んで使用します。

来年も多くの応募をお待ちしています。

各学年の優秀賞受賞者(敬称略)

学 年	氏 名
1 年	長久保匠未
2 年	永林美桜姫
3 年	駒木根夢叶
4 年	橋本 紗夏
5 年	佐藤 羽太
6 年	三瓶 瑠奈



令和7年度米の消費拡大推進ポスターコンクール 今回のテーマは「ごはんを食べて元気いっぱい」

米の消費拡大推進とごはん食による健康的な食生活への理解と関心を深め、ごはん食の拡大・普及につなげるため「米の消費拡大推進ポスターコンクール」を実施しました。

今回は「ごはんを食べて元気いっぱい」をテーマに町内の小学生から高校生の皆さんを対象に募集を行ったところ、78点の応募がありました。

審査の結果、15人の作品が入賞となりました。「ごはんが好き」「ごはんを食べて力がわいてくる」様子が表現されたすばらしい作品ばかりでした。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

小学生低学年の部	賞	学校名	学年	氏 名
	最優秀賞	小野小学校	2 年	岩塚 葵咲
	優秀賞		3 年	郡司 彩椰
				佐藤 至恩
				本多 悠李
			2 年	國分 理玖
				先崎 優愛
				永林美桜姫
			1 年	秋田 るり
				郡司 侑弦

小学生高学年の部	賞	学校名	学年	氏 名
	最優秀賞	小野小学校	5 年	石井 晶晴
	優秀賞		6 年	宇佐見果音
			5 年	石澤 凜
			4 年	名古谷友菜

高校生の部	賞	学校名	学年	氏 名
	最優秀賞	小野高等学校	1 年	根本 優菜
	優秀賞		2 年	川田 志歩

【高校生の部・最優秀賞作品】



「ごはんを食べて元気いっぱい」

【小学生高学年の部・最優秀賞作品】



「ごはん食べると元気いっぱい」

小学生
低学年の部・
最優秀賞作品



「ごはんを
食べて元気
いっぱい」



受賞者の皆さん

フォトコンテストの審査結果および表彰式を開催しました

町制70周年を記念して「小野町の四季～小野町の魅力再発見～」をテーマに、フォトコンテストを実施しました。

令和6年10月から令和7年9月まで作品を募集したところ、町内外から一般部門84点、ジュニア部門6点、SNS部門37点、合計121点の応募があり、10月21日に行われた審査会の結果、グランプリ3点、優秀賞10点が決定しました。

11月23日には、ふるさと文化の館・美術館で表彰式を開催し、入賞者一人ひとりに町長から表彰状が手渡された後、会田慎審査委員長から作品の講評をいただきました。

表彰式終了後は、コンテストの応募作品全点が展示された作品展を鑑賞し、来場された皆さんが作品の前で談笑する様子が見られました。

なお、フォトコンテストの入賞者は次のとおりです。(敬称略)

○グランプリ

【一般部門】



「個性あふれる羅漢様」
野中章雄(栃木市)

【ジュニア部門】



「山と花」
村上楓(小野町)

【SNS部門】



「巫女さん艶やかに」
庭野陽子(いわき市)

○優秀賞

【一般部門】



「堂々と舞う」
柏館健(いわき市)



「仁王門の先」
鈴木達也(白河市)



「通り過ぎる春」
多熊理桜(小野町)



「神の雪」
田子保浩(いわき市)



「お談様の桜、今ここに」
門林泰志郎(いわき市)



「おはようの景色」
石井文智(小野町)

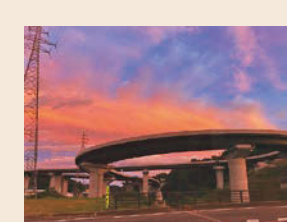
【SNS部門】



「並んだ羅漢様」
西山栄(いわき市)



「春の落陽」
佐藤弘(西郷村)



「近未来」
柴原秀樹



「サメにのった少女？
～首里城みちる～①」
橋本みなみ(三春町)

当 番 医

休日当番医

月日	当番医	所在地	電話番号
12月 21日㊤	のざわ内科クリニック	三 春 町	61-1500
28日㊤	清水医院	田村市船引町	82-3535
29日㊤	石塚医院	小 野 町	72-2161
30日㊤	白岩医院	田村市常葉町	77-2036
31日㊤	たむら市民病院	田村市船引町	82-1117
令和8年1月 1日㊤	公立小野町地方総合病院	小 野 町	72-3181
2日㊤	三春病院	三 春 町	62-3131
3日㊤	石川医院	三 春 町	62-2630
4日㊤	中央通りクリニックやない	田村市船引町	81-2662
11日㊤	かみや内科クリニック	小 野 町	72-3212
12日㊤	東部台こどもクリニック	田村市船引町	81-2580

●夜間診療所および休日当番医を受診する場合は、必ず事前に電話確認のうえ、受診してください。

*医療機関・薬局情報検索は

「医療情報ネット」もご利用ください。

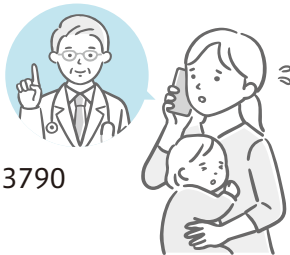


救急電話相談

- ◆受付時間
24時間(年中無休)
- ◆電話番号
〈短縮ダイヤル〉☎#7119
〈一般ダイヤル〉☎024-524-3020

こども救急電話相談

- ◆受付時間
午後6時から翌朝8時まで
(年中無休)
- ◆電話番号
〈短縮ダイヤル〉☎#8000
〈一般ダイヤル〉☎024-521-3790



田村地方夜間診療所の当番医

田村地方夜間診療所では、田村地方の医療機関が交替で診療しています。
下記に電話をしてから受診してください。

- ◆診療場所
田村市船引町船引字源次郎68番地2
(福祉の森公園地内)
☎0247-81-2233
- ◆受付時間
午後7時から午後8時30分まで

月日	当番医
12月 15日㊤	なごみファミリークリニック
16日㊤	石川医院
17日㊤	青山医院
18日㊤	矢吹医院
19日㊤	三春病院
22日㊤	のざわ内科クリニック
23日㊤	雷クリニック
24日㊤	清水医院
25日㊤	東部台こどもクリニック
26日㊤	まつざき内科胃腸科クリニック
令和8年1月 5日㊤	船引クリニック
6日㊤	のざわ内科クリニック
7日㊤	青山医院
8日㊤	さとう耳鼻咽喉科クリニック
9日㊤	白岩医院
13日㊤	橋本医院
14日㊤	遠藤医院

- 田村医師会では、地域の医療・介護に関する皆さんのご意見・ご質問を募集しています。
- ☎田村医師会事務局
〒963-3401
小野町大字小野新町字品ノ木123
☎72-2161 / FAX 72-6178



小野町地域包括支援センターからのお知らせ

～高齢者のうつ病について～

うつ病は誰もがかかる可能性があります、「もう年だから」と見過ごされてしまい、気づかないうちに重症化してしまうことが少なくありません。

○高齢者のうつ病の原因

- ①生活環境の変化
・喪失体験や死別(ペットも含む)
・本人・家族などの病気やケガ
・退職、失職、経済的問題
・転居、施設入所 など
- ②慢性的なストレス
・健康不安
・認知機能の低下
・家族の介護
・社会的孤立 など

○うつ病の特徴

頭痛や関節痛、肩こり、めまい、耳鳴りなど身体的な症状が現れたり、妄想や不安、焦燥などの心理的症状が現れやすいのも特徴です。
また認知症と同時に発症するケースもありますが、うつ病と認知症では治療法が異なるため、自己判断をせず、医療機関を受診することが大切です。



地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口です。心配ごとがありましたら、いつでもご相談ください。

☎小野町地域包括支援センター ☎72-2128

○うつ病の予防

- ◆周囲と「つながる」「話す」ことが大切です。
- ①身近な人と気持ちのよい「あいさつ」から会話を交わす
- ②趣味やスポーツのサークル活動に参加する
- ③離れて暮らす家族や友人と定期的に連絡をとる
- ④地域の行事やボランティア活動に取り組む
- ⑤通いの場であるサロンに参加する

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

当院「栄養室」「リハビリ室」からのお知らせ 「食」×「運動」で冬対策

■からだを温める■

【冬野菜】

旬の野菜は栄養価が高く、価格も手ごろでおすすめの食材です！
にんじん、れんこん、ごぼう、ほうれんそうなどの冬野菜は、ビタミンやミネラルが豊富で、免疫を上げる、からだを温める効果があると言われています。

【朝 食】

朝食は寝ている間に低下した体温を上げる役割があります。
また筋肉量が低下すると血流が悪くなり、冷え・むくみの原因にもなります。
朝食に冬野菜を取り入れることで、からだを温め、寒い冬を乗り越えましょう！

■冬の足のむくみと予防・対策■

冬のむくみは寒さによる血行不良が原因とされています。さらに寒さで運動不足となり、代謝が下がることでむくみが発生します。特に、こたつやテーブルで座っている時間が長くなり、同じ姿勢で足の筋肉を動かさなくなると、血液が戻りにくくなるため足がむくみやすくなります。

ふくらはぎの筋肉は「第2の心臓」と呼ばれ、動かすことで血液を心臓へ押し戻すポンプの役割があります。床・いすに座りながら足首を上・下に動かすことでふくらはぎの筋肉を使うことができるため、1セット15回～20回を目安に、無理のない範囲でゆっくり大きく動かしてみましょう。



つま先を上げる



かかとを上げる



トイレが近くなるからという理由で水分補給を嫌がる方もいますが、老廃物を十分に排出できなくなってしまうため、こまめな水分補給を意識して行いましょう。
ぜひ冬の寒さに負けない「体づくり」の参考にしてみてください。

☎公立小野町地方総合病院 ☎72-3181

お誕生おめでとう					(敬称略)
届出月	氏 名	(父・母)	行政区		
10月	館川 千歳	(睦 礼・祥 子)	平 館		
	草野 柊	(涼 ・ 範 子)	谷津作		

おくやみ申し上げます					(敬称略)
届出月	氏 名	年齢	行政区		
9月	渡邊 薫	95	荒 町		
	坪井 和子	93	皮籠石		
	宗像富士雄	85	飯豊下		
10月	宍戸 正治	94	中 通		
	渡邊トク子	100	平 館		
	先崎 富雄	92	谷津作		
	吉田 ハナ	94	飯豊中		
	宗像 幸子	89	飯豊下		
	小野 徳次	88	上羽出庭		

町の人口・世帯数(令和7年11月1日現在)

人口	男	4,167人(7人)
	女	4,131人(▲3人)
	計	8,298人(4人)
世帯数		3,340世帯(14世帯)

※()内は前月比



食品などの放射能測定結果

町で実施している簡易検査および非破壊式測定器による検査結果(10月分)をお知らせします。

非破壊式測定器による測定結果

区分	検体数	検体名	測定結果 (Bq/kg)
基準値を超えたもの	0	—	—
基準値未満 または 検出限界値 以下のもの	4	井戸水、引き水	

※測定結果の値は、セシウム134およびセシウム137の合計値です。

食品中の放射性物質(セシウム)の基準値

飲料水	…	10Bq/kg
牛乳・乳幼児食品	…	50Bq/kg
一般食品	…	100Bq/kg

検査を希望される方へのお願い

- ①検体を持参するときは、土やごみなどの汚れはきれいに洗い流し、すぐに調理できる状態にしてください。
- ②検体は必ず1キログラム持参してください。量が少ないと正確な値が出ない場合があります。

健康福祉課 ☎72-6934



上水道水質検査結果

11月に実施した水道水の水質検査の結果は、次のとおりです。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0 CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	12mg/l
有機物(TOC)	3mg/l以下	0.9mg/l
PH値	5.8～8.6	7.2
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	0.5度未満
濁度	2度以下	0.1度未満

地域整備課 ☎72-6936

各種健診・教室などの日程

内 容			日 時		場 所	申し込み・問い合わせ先
乳幼児健診	4カ月児健診	令和7年7月23日から9月17日生まれのお子さんが対象です。	12月17日(水)	受付 13：00～13：15	こども家庭センター キッズルーム (子育て支援課)	
	10カ月児健診	令和7年1・2月生まれのお子さんが対象です。				
親子の教室	育児教室	生後1カ月から2カ月までのお子さんとその親を対象とした教室です。対象者には保健師から案内します。	12月16日(火)	受付 9：45～10：00	児童館 キラッと☆おの	子育て支援課 ☎72-2212
	ママのリフレッシュ教室	産前・産後・子育て中のお母さんを対象に体操教室などを実施します。	令和8年 1月19日(月)	※要申し込み		
	幼児のわくわくタイム	親子の運動遊びや交流のための教室です。	令和8年 1月13日(火) 14日(水)			
健康づくり	夜間ヘルスアップ運動教室	運動不足解消を目的としたストレッチや有酸素運動を行います。	12月18日(木)	19：00～20：30 ※要申し込み	B&G海洋センター	健康福祉課 ☎72-6934
	フィットネスクラブ	ヨガなどを中心とした運動を行います。	12月25日(木)			
	ヘルスアップ運動教室	60歳以上を対象に介護予防を目的とした運動を行います。	12月19日(金) 26日(金)	10：00～11：30 ※要申し込み	多目的研修集会施設	
	すずらんサークル	精神障がい者の方たちの交流の場です。	12月18日(木)	10：00～15：00 ※初めて利用する方はご連絡ください		

広告募集

社会福祉法人 田村福祉会
交流会・職場説明会のお知らせ
(12月28日・1月25日)

採用に関する詳しい内容は、
ホームページをご覧ください。▶▶▶
ご連絡お待ちしております。



社会福祉法人田村福祉会
〒963-7752 田村郡三春町字六升蒔68 ☎0247-61-2761

広告欄



(<https://www.payment.eltax.lta.go.jp/>)

税務課 ☎72-6932

有償ボランティア事業「ささえ愛」活動紹介

『ささえ愛(支え合い) 活動で活躍してみませんか?』

～有償ボランティア「ささえ愛」は、ちょっとした「困った…」を住民同士が有償でお助けする「お互いさま」の活動です。～

◆「ささえ愛」活動を紹介します👉



買い物代行



灯油入れ



家事(掃除)支援

◆「ささえ愛」活動を始める(お手伝いしたい)にはどうすればいい?

→**社協窓口にて支援者登録が必要です!**登録時に支援についての流れをご説明します。

また活動に不安がある方や活動に興味がある方向けに『ボランティア養成講座』を開催しています。次回は令和8年度開催予定です。ご要望に応じて、個別に事業内容について説明することもできますので、お気軽にお問い合わせください。

◆「ささえ愛」を利用する(お手伝いしてほしい)にはどうすればいい?

→**利用者登録が必要です!**社協に来ることが難しい場合は、自宅にお伺いして登録を行うこともできます。またご家族やご友人、ご近所の方々やケアマネジャーさんなどからの相談も承ります。「こんな場合は利用できるのかな?」など困りごとがありましたらお気軽にお問い合わせください。

65歳以上の町民



18歳以上の熱意のある方



社会福祉協議会が「ささえ愛」をお繋ぎします!

利用内容

- ・ゴミ出し ・ゴミの分別 ・日用品の買い物代行
- ・簡単な家事(調理・掃除・洗濯等)
- ・送迎を行わない受診の付き添い ・灯油入れ ・精米
- ・見守り ・健康相談を含めたお話し相手
- ・手で行える玄関周りの草むしり ・雪かき 等

※日常生活を超える範囲の支援、または専門的技術を必要とする作業は不可です。

利用料

★30分200円(利用される方)

≪利用券(200円×5枚綴)を購入して支払います≫

★利用券交換(支援する方)

受け取った利用券は小町さくら商品券と交換。

※社協窓口での交換手続きが必要です

【相談・登録窓口】 小野町社会福祉協議会

住 所: 〒963-3401 小野新町字美売57-1 ☎72-6866

窓口開設時間: 午前8時30分から午後5時30分まで(土日祝日を除く) ※登録には料金はかかりません。